

# Ⅲ. 中国対策プログラム— First Month

1コマ1時間15分、午後16時～16時30分まで質疑応答となっております。

	9:15	10:30	10:45	12:00	13:15	14:30	14:45	16:00			
1回目	オープニング	中国に対する アメリカと日本の軍事、 外交政策	中国セキユリティリスク と反日デモ	周辺諸国との領土問題	日中の直面 した課題	2回目	中国マクロ経済とバブル	中国の投資環境	中国の投資環境	経済制度と 人民元切り上げ	資源 エネルギー 環境問題
	✓研修主旨全体的な説明	✓アメリカのアジア戦略 ✓日米同盟はどれくらい違っているのか？ ✓柳井レポートとは何か？ ✓日米同盟はどれくらいいいのか？	✓日中の政治経済の歴史 ✓江沢民の愛国教育 ✓2008海里と領土問題 ✓日本の対中投資の動向 ✓反日デモの背景	✓国境紛争国 ✓地政学 ✓軍事力比較 ✓南シナ海紛争とバナーナ ✓ビジネス ✓CIA	✓投資主導から消費主導 ✓地方政府の不良債権 ✓株式と不動産のバブル ✓物価が上昇しているが、給与も上昇している。 ✓中間所得層の増大 ✓一人っ子政策 ✓人口オオナス	✓中央政府の融資 ✓国有企業の監督と資産管理 ✓金融の融資も不正だらけ ✓人民元切り上げでも、貿易黒字は解消しない ✓失業率は実質もつと高い ✓企業の立ち退き問題	✓社会主義市場経済 ✓人民元のポジション ✓銀聯カードが世界に普及して来ている。 ✓元は過小評価されているのか？ ✓会計制度・税制の不備 ✓経済法制度の不整備	✓中国の汚染された都市 ✓河川の6割が汚染 ✓PM2.5 ✓酸性雨 ✓老朽化した火力発電所 ✓自動車大国 ✓海外に資源をあさる中国			

中国が直面  
している  
経済問題

# Ⅲ. 中国対策プログラム— Second Month

1コマ1時間15分、午後16時～16時30分まで質疑応答となっております。

	9:15	10:30	10:45	12:00	13:15	14:30	14:45	16:00
3回目	中国の格差問題		汚染と腐敗		中国の文化と習慣		中国の—党独裁	
中国が直面している 社会文化問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓都市と農村の格差</li> <li>✓ジニ係数</li> <li>✓三農問題とは何か？</li> <li>✓農民暴動</li> <li>✓農村の家族の断絶</li> <li>✓農民工の実体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓血縁地縁が問題</li> <li>✓独特の裁く制度—双規</li> <li>✓公務員の福利厚生</li> <li>✓腐敗官僚の海外逃亡</li> <li>✓海外に違法流出資産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓中国文化への理解</li> <li>✓ビジネス習慣への理解</li> <li>✓多民族、多言語、多宗教、多文化</li> <li>✓世界に散在する華僑</li> <li>✓2面性を持った中国人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓共産党の数と組織図</li> <li>✓国有企業の3分の2の株を保有する政府</li> <li>✓国家資本主義</li> <li>✓情報統制</li> </ul>				
4回目	生産、調達、品質管理、販売上の問題		組合とストライキ		中国の雇用と賃金水準		模倣品と知的財産権	
中国が直面している 企業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓生産：労務費高騰でも慎重に判断すべき工場のアジア移転</li> <li>✓調達：調達体制の現地化を図るためには</li> <li>✓中国が抱えるロジスティック上の課題</li> <li>✓中国消費者層の多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓企業内の労働組合の機能</li> <li>✓農民工による集団的労働紛争</li> <li>✓日系工場でストが起こりやすい原因</li> <li>✓ストライキが起こるマクロ環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓雇用変化の歴史背景</li> <li>✓大学卒業生の就職難</li> <li>✓日本企業は中国における経営上の問題点</li> <li>✓大学生の人気企業ベスト</li> <li>✓大学生の転職理由と日本企業特有の雇用課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓偽物市場の背景</li> <li>✓商標登録</li> <li>✓模倣品とその対策</li> <li>✓アップルの人気と偽店舗</li> <li>✓ターゲットにされるアップル</li> <li>✓地方政府保護主義</li> </ul>				

# III. 中国対策プログラム – Third Month

1コマ1時間15分、午後16時～16時30分まで質疑応答となっております。

9:15	10:30	10:45	12:00	13:15	14:30	14:45	16:00
5回目	三十六計	チャイナ・コンセンサス	アメリカと中国との競争	TPP			

世界的な  
視点での分析

- ✓有利な立場：  
勝戦計、敵戦計、攻戦計
- ✓不利な立場：  
混戦計、伊戦計、敗戦計

- ✓ワシントン・コンセンサスと北  
京・コンセンサス
- ✓チャイナモデル
- ✓閉鎖された民主主義体制
- ✓一党独裁と資本主義
- ✓中央政府と地方政府

- ✓アメリカと中国間の問題
- ✓空海戦闘
- ✓オバマ政権の「アジアの  
軸足」
- ✓サイバー攻撃の実態
- ✓第一・第二防衛ライン

- ✓貿易の自由化とは
- ✓TPPの定義
- ✓交渉分野
- ✓TPPの本当の狙い
- ✓国内経済と各分野への  
影響

6回目	中国における日本企業の グローバル化	中国市場における 日本企業の今後の 展開モデル	2020年日本はアジア にリーダーになれるか	全体総括
-----	-----------------------	-------------------------------	---------------------------	------

中国に対して  
日本のとるべき  
対応

- ✓経営スタイルのグローバル  
化
- ✓人材のグローバル化
- ✓異文化チームのダイバー  
シティ
- ✓アジアを中心に

- ✓消費市場としての中国
- ✓中国ビジネス・日系企業の  
課題
- ✓華僑について
- ✓日本企業の中国進出にお  
ける台湾の役割

- ✓オバマの政策
- ✓ユーロの危機
- ✓アラブの春
- ✓日本の高齢化
- ✓中国の状況
- ✓戦前三井物産の事例

- ✓各人の感想と意見
- ✓講師講評とまとめ

## IV. 講師略歴



海野 恵一  
Keiichi Unno

東京大学経済学部卒業。

アーサー・アンダーセン(現アクセンチュア)に入社。ITシステム導入や海外展開による組織変革の手法を30年にわたり日本企業にコンサルテイングを担当。アクセンチュア代表取締役を経て2004年にスウインズバイ2020株式会社を設立し、代表取締役役に就任。2003年から今日まで、日本企業のグローバル戦略のコンサルテイングの一環として、主に経営者を対象に海外プログラムを実施。近年は、次代の日本企業の経営を担う幹部候補の世代に対しても、海外プログラムや勉強会を主宰。日本企業のグローバル化への意識変革と人材育成をライフワークとしている。



布施 玄祥  
Gensho Fuse

神戸大学経済学部卒業。

出光に入社、大阪支店経理、本社総合計画室、石油開発本社中国室、本社海外部外航課海外課、香港事務所中国事業开拓担当、メキシコ石油輸入協議会(MEP)業務課長、本社海外部国際情報グループ 原油情報担当、大連出光中聯石油董事総経理、PEC(石油産業活性化センター)主任研究員METI精製課向け中国情報担当、海外部を経て現在「オイルエコノミスト」で世界的なエネルギー経済動向と北東アジアのエネルギー経済の分析・評論・コンサルなどを勤めている。

## V. 中国対策プログラム費用-企業向けと一般向け

企業向けと一般募集向けの費用は以下の通りです。

企業向けの場合、貴社のご希望により、プログラムの内容・費用の変更も可能です。プログラム期間は別途ご相談させていただきます。

ご興味を持って頂いた方には、より詳しい資料をメールにて送らせて頂いておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

プログラム	人数 (人)	費用明細 (税込)	備考
●企業向け	10	¥1,575,000	貴社プログラム施設, 会議室にて実施 追加1名に付き10万円
●一般募集向け	1	¥180,000	弊社指定の会議室にて実施 最小実施人数: 10名